

Governor's Monthly Letter

2022年3月号
Vol.9

2021-2022年度

国際ロータリー第2640地区

ガバナー月信

3月は「水と衛生月間」です

3月7～13日は「世界ローターアクト週間」です

地区スローガン「広げようロータリーの光を！」

ガバナー 豊岡 敬

写真 田辺市「高山寺の梅」



奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

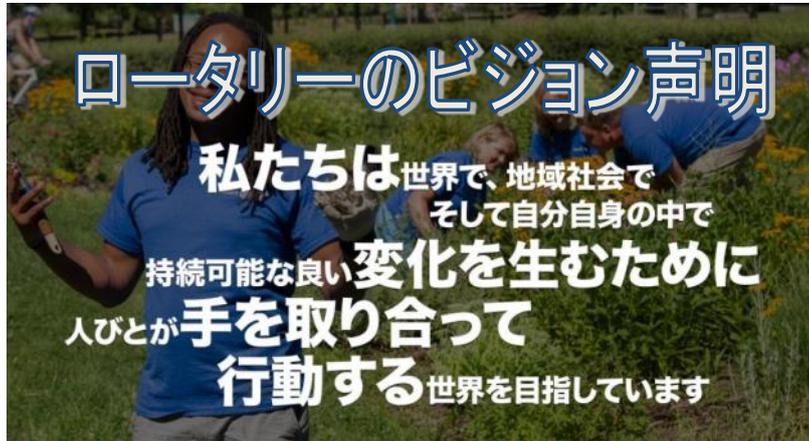
ガバナー事務局

〒640-8331
和歌山市美園町3丁目34番地
けやきONE 301号室
TEL 073-426-2640
FAX 073-426-2660
E-mail toyooka@rid2640g.com

CONVENTION.ROTARY.ORG

ヒューストン(米国テキサス州) 2022年6月4～8日

Rotary   HOUSTON
2022



より大きなインパクトをもたらす



参加者の基盤を広げる



参加者の積極的なかわりを促す



適応力を高める



世界を変える行動人

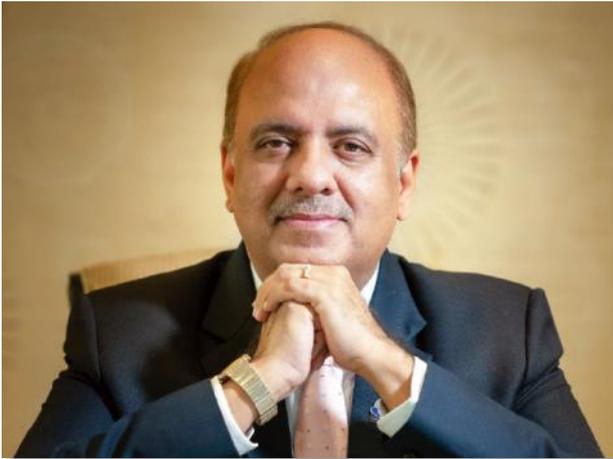
2024年までのロータリーの行動計画は、「より大きなインパクトをもたらす」、「参加者の基盤を広げる」、「参加者の積極的なかわりを促す」、「適応力を高める」ことです。

目次

RI会長メッセージ	1
ガバナーメッセージ	2
3月は「水と衛生月間」です。	3
地区大会、記念ゴルフのご案内	4～5
地区大会記念ゴルフ大会の開催	6
2022年国際協議会(2022年2月7～14日) 報告	7
【Rニュース】	
ウクライナ情勢に関する国際ロータリーからの声明	8
【地区活動報告】	
2022-23年度のための地区チーム研修セミナー	9
2022-2023年度 ガバナーの基本方針	10
【クラブ活動報告】	
国際交流センターへの書籍寄贈 和歌山東RC	11
海南クリーンアップ作戦(RC奉仕デー) 海南東RC	12
新会員の紹介	13
ハイライトよねやま Vol.263	14～15
コーディネーターニュース 3月号	16～17
会員数報告(2022年1月)	18
My ROTARY登録状況	19
3月の行事予定表	20

表紙写真は、田辺東RCの 竹田 静也 氏
から、提供の田辺市「高山寺の梅」です。

地区大会(3/27) 記念ゴルフ(3/9)



PRESIDENT'S MESSAGE

RI 会長メッセージ

 指定記事

国際ロータリー会長
シェカール・メータ

親愛なるチェンジメーカーの皆さん

この2年間で、私たちは数多くの難題を解決し、多くの人々の人生に変化を与えてきました。今年度、皆さんが「Each One, Bring One (みんなが一人を入会させよう)」イニシアチブを通してロータリーの成長に全力を尽くしてくださっていることを、私は心からうれしく思っております。おかげで会員数は大きく伸びました。この勢いを維持していきましょう。

2020年3月11日に世界保健機関が新型コロナウイルスのパンデミックを宣言してから2年がたちます。疾病予防と治療というロータリーの専門知識を活用し、パンデミックに苦しむ人々の支援を今後も続けていくことが肝要です。新型コロナは私たちの想定を超え続けていますが、恐れをなして立ち止まってはなりません。ロータリーの活動は大変重要なのです。また私たち自身の時間を持つことも大事です。ヒューストンで開催される2022年ロータリー国際大会にぜひご参加ください。

ロータリーは、リソースを活用して恵まれない人々を支援し、これからも希望と平和をもたらし続けます。新型コロナで特に大きな影響を受けているのは、女兒です。パンデミック宣言から1年となる日に、ユニセフ(国連児童基金)事務局長のヘンリエッタ・フォアさんは「女兒とその家族の被害軽減は喫緊の課題」だと語っています。しかし、それから1年たってもこの問題は依然として解決されていません。パンデミックは学業不振、雇用率の低下、それに児童婚や人身売買の増加など、女兒たちに悪影響を及ぼし続けています。

ユニセフのデータは、対策の必要性を如実に物語っています。2010年代には児童婚の撲滅に向けて大きな進捗が見られ、全世界で2,500万件の児童婚が回避されたと推定されています。残念ながら新型コロナによりせっかくの成果もむなしく事態は後退し、児童婚のリスクがある女兒の数が1,000万人も増えてしまうという結果になってし

まいました。

だからこそ、女兒のエンパワメントは非常に重要な活動なのです。うれしいことにジェニファー・ジョーンズ会長エレクトがこのイニシアチブを継続することを明言しました。世界中で、数多くのクラブが女兒のエンパワメントの目標達成を支える素晴らしいプロジェクトを実施しているのを見聞きしています。しかし、本当の変化には何年にもわたる尽力が必要であることは、ロータリーの会員なら誰でも知っているところです。そこで、ロータリーの重点分野に沿った行動とグローバル補助金が重要な意味を持つてくるのです。

女兒のエンパワメントに関する補助金プロジェクトを計画する際には、ぜひ画期的な取り組みを検討してください。女兒の教育、医療、経済的機会を向上させるために手を打てば、女兒が持てる力を発揮する際の大きな後押しをすることになります。機会があれば希望が生まれ、希望が生まれれば世界中の紛争の根本原因に対処でき、持続可能な平和の土台が築けます。

新型コロナの流行があと何年続くかは誰にも分かりません。今後直面する困難については、ポリオ根絶に向けて何十年も根気強く活動してきた団体として、他の誰よりもよく理解しています。だからこそ、先を見据えて、何が可能かということ、つまり、かつての生活様式を懐かしむだけではなく、このパンデミックを「みんなの人生を豊かにするために奉仕する」チャンスとして生かす未来を、心待ちにするべきなのです。この素晴らしい活動を皆さんと今後も続けられることを光榮に思います。

 奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

Shekhar Mehta

President, Rotary International

ガバナー メッセージ

2021-22年度 国際ロータリー第2640地区

ガバナー 豊岡 敬

3月は「水と衛生月間」です。

私が子供だった時代1960年代には未だ井戸が残っていましたが、一方で公共事業が進み、上下水道が整備されていきました。日本では、既に水が原因となる感染症の流行は無かったと思います。今日では、ペットボトルやウォーターサーバーの水を飲料に使用するまでにライフスタイルは変わってきました。しかしながら、世界では未だに清潔な水を確保できない場所が沢山あり、20億もの人が安全に管理された飲み水を使用できません。



また、1億2千万の人は、湖や河川といった未処理の地表水を使用しているそうです。36億の人は、安全に管理されたトイレを使用できない環境に置かれているそうです。人が生きていく上で、水と衛生は大きな問題です。汚れた水や不衛生な環境は、感染症を引き起こします。幼い子供達の中には、下痢などで命を落としてしまうことも少なくありません。

ロータリーの7つの重点分野は、互いに関係し、どの分野も放置しておけないものです。その中でも人間が生きていくために無くてはならない必要なものは水です。人間だれしもが健康に暮らす権利があり、その根本を支えるのが清潔で安全な水であると思います。国連の持続可能な17の開発目標(SDG's)の6番目は、「水とトイレを世界中に」とされており、2030年までに、すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保することが目標です。

私たちは今までもロータリー財団の補助金等を活用して海外において水支援の奉仕を行ってきましたが、多くの世界の人たちが支援を必要としています。Serve to Change Lives, みんなの人生を豊かにするために奉仕していきましょう。



3月は「水と衛生月間」です

安全な水と衛生設備の利用は、すべての人がもつべき権利。なのに、汚染水で病気になる人や命を落とす人が後を絶ちません。未来を担うはずの子どもたちは、水汲みなどの労働によって学校に通えず、つらい境遇を強いられています。

私たちの活動は、井戸を掘るだけではありません。安全な水と衛生設備を提供した上で、衛生や伝染病予防に関する教育も行うことで、コミュニティ全体の生活を改善し、子どもの通学率を高めています。



水と衛生への新たなアプローチ

人びとが安全な水を持続的に利用できるようにするために、ロータリーが新たな方法で挑む

記事 Ryan Hyland

安全な水、衛生施設や衛生リソースの不足は、世界で最も大きな保健問題の一つです。これはまた、解決が最も難しい問題でもあります。

ロータリーはこれまで何十年にもわたり、井戸を掘り、配管工事を行い、浄水設備を整え、流し台やトイレを設置するなどして、人びとが安全な水を利用できるよう支援してきました。しかし最大の課題は、このような設備が整えられた後にあります。それは、はじめにプロジェクトが成功してもゆくゆくは失敗に終わるケースゆくゆくは失敗に終わるケースが頻繁にあるからです。

コンサルティング会社「Improve International」社が集めたデータによると、サハラ以南のアフリカだけでも、機能不全となった水道システムに関連する費用の累計額は、さまざまな団体を合わせて12億～15億ドルに上ると推定されています。



これまで井戸の設置に重点的に取り組んできたロータリーのプロジェクトは、その焦点をより効果の高い衛生教育プロジェクトに変えました。

アフリカ、南米、南アジアの一部では、まるで持続不可能となった奉仕プロジェクトの証とでもいうように、錆びた給水ポンプや老朽化した衛生施設があちこちに見られます。独立して調査を行った「Aguaconsult」社による2013年の報告では、ロータリーが実施したプロジェクトでのこのような問題が取り上げられました。また、より効果的なプロジェクトを計画する上での持続可能性の重要性にも触れられています。

ロータリーがここ数年、活動の焦点を教育、協力、持続可能性に転換したのもこれが一つの理由となっています。

世界水の日2022年 3月22日

地下水-目に見えないものを見えるようにする

地下水は見えませんが、その影響はどこにでも見られます。

見えないところで、私たちの足元にある地下水は、私たちの生活を豊かにする隠された宝物です。

世界のほとんどすべての液体淡水は地下水です。

気候変動が悪化するにつれて、地下水はますます重要になります。

この貴重な資源を持続的に管理するために、私たちは協力する必要があります。

地下水は見えないかもしれませんが、気にしないではいけません。



2021-2022

国際ロータリー第2640地区

地区大会の御案内



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

『広げようロータリーの光を!』

2022年3月27日(日)

〈場所〉

本会議 フェニーチェ堺

地区選挙人会議 ホテル・アゴーラ リージェンシー大阪堺

国際ロータリー第2640地区

ガバナー : 豊岡 敬
地区大会実行委員長 : 堀野 俊男
地区大会実行副委員長 : 橋本 直樹
地区大会実行幹事 : 田毎 宣隆

2021-2022年度国際ロータリー第2640地区の地区大会は、ガバナー輩出クラブである富田林ロータリークラブが務めさせていただきます。当初は、2日間の地区大会を施行する予定でしたが、最近のコロナウイルス感染の拡大を踏まえ、3月27日午後から、各クラブ会長・幹事のみ出席による1日だけの開催となりました。

尚、安藤忠雄氏の記念講演は予定どおり行いますので、どうぞお楽しみください。

縮小した形での地区大会となりましたが、ロータリーの寛容の精神でお許しをお願いいたします。

ホストクラブ：富田林ロータリークラブ

コ・ホストクラブ：羽曳野ロータリークラブ
太子ロータリークラブ



記念ゴルフ大会

競技方法：ダブルペリア方式

2022年3月9日(水)

会場：大阪ゴルフクラブ 〒599-0303 大阪府泉南郡岬町深日31
TEL 072-492-2011

参加費用 参加登録費 **¥10,000**— (参加費、パーティー費、賞品代)
※プレイ費については各自フロントにてご精算願います。

参加定員 **200名** (ロータリーファミリー参加可)
※先着順にて締め切ります。

地区大会記念ゴルフ大会 実行委員長 田中 正章(富田林)
副実行委員長 和田 耕司(和歌山北)、時任 隼成(富田林)、内海 茂(太子)

2021
|
2022

国際ロータリー第2640地区 地区大会プログラム

日時

2022年3月27日(日)

場所

ホテル・アゴラ リージェンシー大阪堺

プログラム

地区選挙人会議

9:30 登録・受付
10:00 地区選挙人会議 開会

場所

フェニーチェ堺

プログラム

本会議

12:00 登録・受付
12:30 歓迎演奏 神前理恵・松田順司・西川サトシ
(ジャズ演奏) 横尾昌二郎・磯野ノブキ・服部利一
橋本 裕・建部さとこ
12:55 開会・オープンセレモニー
13:00 入場 登壇
13:50 開会宣言・点鐘 / ガバナー 豊岡 敬
15:00 選挙人会議 結果報告
15:15 記念講演
「人生100年 いかに生きるか」
建築家 安藤忠雄氏
(講演後、著書販売・サイン会を実施)
17:00 閉会・点鐘

記念講演講師



建築家 安藤 忠雄 氏

歓迎演奏



Vocal: 神前理恵



Drum: 松田順司



Bass: 西川サトシ



Trumpet: 横尾昌二郎



Trombone: 磯野ノブキ



Saxophone: 服部利一



Guitar: 橋本 裕



Piano: 建部さとこ

国際ロータリー第2640地区

ガバナー : 豊岡 敬
地区大会実行委員長 : 堀野 俊男
地区大会実行副委員長 : 橋本 直樹
地区大会実行幹事 : 田毎 宣隆

(お問合せ先) 国際ロータリー第2640地区2021-2022年度地区大会実行委員会
〒584-0012 富田林市粟ヶ池町2969-5 商工会館2階
富田林ロータリークラブ内
TEL: 080-3804-2640 FAX: 0721-26-0443
E-mail: chikutakai21-22@rid2640g.com

地区大会記念ゴルフ大会の開催

国際ロータリー第2640地区

ゴルフ大会実行委員長 田中 正章

来る2022年3月27日(日)にフェニーチェ堺に於いて地区大会が開催されます。

これに先立ちまして、3月9日(水)「大阪ゴルフクラブ」に於いて地区大会記念ゴルフ大会を開催させていただきます。

昨年は、コロナ禍における感染者、及び重症者の拡大によって中止を余儀なくされてしまいました。今年度はオミクロン株の拡大により感染者は増加傾向にありますが、3回目ワクチンの普及拡大と重症者数が落ち着いていること、ゴルフ場では来場時に検温、消毒とクラブハウス内ではマスクの着用の義務化などの感染予防策を講じている点を考慮して開催させて頂くこととしました。この記念ゴルフ大会において2640地区のロータリアンの熱き友情が一層深まり、ロータリーの光が広がることを祈念いたしております。

今年度は、49歳以下の「ヤング賞」、75歳以上の「ゴールドシニア賞」、女性対象の「レディース賞」での優勝、BB賞の他、サプライズ賞も多く設けております。上級者だけでなく、ビギナーの方々にも入賞が多くなる様に工夫いたしております。また、各分区ガバナー補佐、パストガバナーの方々にも特別賞の協賛を頂いております。

優勝者、その他特別賞受賞者は3月27日(日)の地区大会にて発表し、それ以外の各賞は後日、各クラブに賞品を発送させていただきます。

参加の皆さんの御健闘をお祈りします。



記念ゴルフ大会

競技方法: ダブルペリア方式

2022年 3月 9日 水

会場: 大阪ゴルフクラブ 〒599-0303 大阪府泉南郡岬町深日31
TEL 072-492-2011

参加費用 参加登録費 **¥10,000**— (参加費、パーティー費、賞品代)
※プレイ費については各自フロントにてご精算願います。

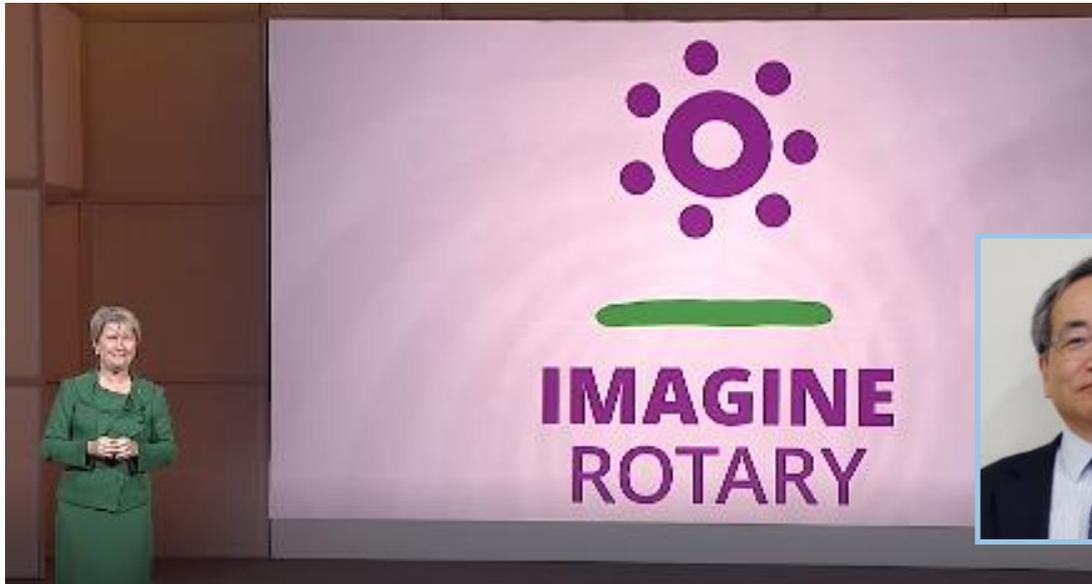
参加定員 **200名** (ロータリーファミリー参加可)
※先着順にて締め切ります。

地区大会記念ゴルフ大会 実行委員長 田中 正章(富田林)
副実行委員長 和田 耕司(和歌山北)、 時任 隼成(富田林)、 内海 茂(太子)

2022年国際協議会(2022年2月7~14日 バーチャル開催) 報告

森本 芳宣 ガバナーエレクト 参加

大きな夢をかなえたロータリーを想像して



2022-23年度テーマ講演 「イマジン ロータリー」(抜粋)

RI 会長エレクト ジェニファー・ジョーンズ

世界平和は、私たちが公平さ、人権、地域社会のリソースの公平な配分に力を尽くしてこそ実現できるのです。私たちがよく知る言葉でいえば、「みんなに公平か」です。ロータリーに多様性、公平さ、インクルージョンを取り入れる努力において、インクルージョンのカギとなるのは、障壁を取り除くことです。そしてインクルージョンこそが、会員増強のカギとなります。

ロータリーでの参加型の奉仕、人間的成長、リーダーシップ開発、生涯にわたる友情こそが、目的意識と熱意を生み出します。これが私たちの責任です。会員に奉仕できなければ、地域社会への奉仕もできません。会員にとって心地よい場所とし、会員への気配りがなければ、ロータリーの力を本当の意味で理解してもらうことはできないでしょう。

シェカール(メータ)会長は昨年、「女兒のエンパワメント」のイニシアチブを立ち上げ、それが世界中で受け入れられてきました。エンパワメントされた女兒はエンパワメントされる女性になる、ということ認識して、私たちはこの果敢な取り組みを続けていきます。ロータリーでの女性の割合を30%にするという、理事会が定めた目標の達成期日まで、あと1年半を切りました。ここまで進展が見られ、110カ国以上で既にこの目標が達成されています。

想像してください、私たちがベストを尽くせる世界を。私たちは毎朝目覚めるとき、その世界に変化をもたらせると知っています。昨日のことをイマジン(想像)する人はいません。それは未来を描くことです。

ポリオのない世界を想像してください。

みんなが安全な水を使える世界を想像してください。

疾病のない世界、すべての子どもが読むことのできる世界を想像してください。

やさしさ、希望、愛、平和を想像してください。

だからこそ、「イマジン ロータリー」がテーマとなります。

【RIニュース】

ウクライナ情勢に関する国際ロータリーからの声明

ウクライナと世界の人びとにとって、痛ましく悲惨な状況となっています。

ロータリーは、ウクライナにおける状況悪化と、人命の喪失および人道的苦難が深刻化していることを深く懸念しています。ウクライナに対する軍事行動が続けば、地域の荒廃を招くだけでなく、欧州と世界にも悲惨な結果が広がる恐れがあります。

世界最大の人道支援団体の一つとして、ロータリーは「平和」を世界的使命の礎としてきました。私たちは、国際社会とともに即座の停戦、ロシア軍の撤退、および対話を通じた対立解決のための外交努力の再開を求めます。

過去10年間、ウクライナ、ロシア、および近隣諸国のロータリークラブは、国の違いを超えて、親善を推進し、戦争や暴力の被害者への支援を先導する平和構築プロジェクトに積極的に取り組んできました。私たちは今、この悲劇的な出来事に直面しているウクライナのロータリー会員や人びとのために祈ります。国際ロータリーは、救援物資や支援を提供し、ウクライナ地域に平和をもたらすために全力を尽くします。

国際ロータリー
25-Feb-2022

平和を世界的使命の礎とするロータリーには、平和の構築につながるさまざまなプログラムや活動があります。

<p>平和のために ロータリーとロータリー会員は</p> <p>実践者として</p> <p>疾病との闘い、水と衛生、母子の健康、教育の支援、地域経済の発展、環境といった分野での活動を通じて、平和な社会への最適な条件を作り出します</p> <p>Rotary </p>	<p>教育者として</p> <p>ロータリー平和センターで平和構築者を育成しています</p> <p>卒業した平和フェローは政府、教育、国際機関などで平和分野のキャリアを築いています</p> <p>Rotary </p>	<p>調停者として</p> <p>ポリオの脅威にさらされた地域のすべての子どもにワクチンを投与するため紛争地域における人道的停戦の交渉を行ってきました</p> <p>Rotary </p>	<p>提唱者として</p> <p>平和構築や紛争後の復興プロセスに積極的にかかわり、重要な役割を果たしています</p> <p>Rotary </p>
---	---	--	--



国際ロータリー／Rotary Japan

2月27日 8:16 

アフガニスタンで8人のポリオワーカーが襲撃・殺害されたという悲しいニュースが入りました。亡くなった方々のご家族・ご友人に対し、心よりお悔やみ申し上げます。ポリオワーカーへの襲撃は、ワーカーたちが守っている子どもたちへの襲撃でもあります。この襲撃により、クンドゥーズとタカール州では、2022年2月21日に開始された全国ポリオ予防接種キャンペーンが停止となりました。

こうした無分別な襲撃はやめなければなりません。これらは人間的にも人道的にも許されず、宗教の違いを超えて厳格に禁じられています。究極的に、これらの卑劣な行為の犠牲となるのは罪のない子どもたちであり、こうしたことが起こらないようにしなければなりません。

【地区活動報告】

2022-23年度のための地区チーム研修セミナー

地区は、2月27日(日)13時30分から、けやきONE401において、Zoom配信の「2022-23年のための地区チーム研修セミナー」を開きました。地区役員、地区幹事、各委員長等の役60名が参加。次年度(森本年度)について、最初のセミナーをスタートしました。



セミナーでは、豊岡ガバナーをはじめ、次年度地区研修リーダーの中野パストガバナーが「地区チーム研修セミナーの目的について」趣旨説明、森本ガバナーエレクトの国際協議会報告と次年度のガバナー基本方針(別稿)を説明しました。

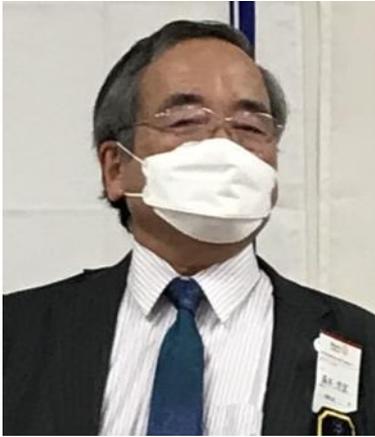
また、委員会報告として、①社会奉仕委員会 谷 次年度委員長 ②青少年交換委員会 豊岡 次年度委員長 ③ロータリー財団委員会 中野 次年度委員長 ④米山記念奨学委員会 玉井 次年度委員長がそれぞれ説明を行いました。

このほか、初田 次年度代表幹事の報告・連絡事項。最後に藤井 直前ガバナーが講評を述べ閉会しました。



2022-2023年度 ガバナーの基本方針

「行動し、実践することにより、“ロータリーの輪”を広げよう」



新型コロナウイルス感染拡大は、2021年において収束に向かうと思われましたが、後半、新型オミクロン株が急速に世界に広がり、日本にも感染者が拡散しつつあります。そんな中でも、どんな時でもクラブ内においてまた地域に奉仕し、心に残る国際交流を考えることによりロータリーの輪が広がると思います。

“陰徳を積む”という言葉があります。人に褒められようとして善行を施すのではなく、誰にも知られずとも、世のため人のためになることを黙々と行ってこそ人格は磨かれる、という意味です。思えば、ロータリー財団、米山記念奨学会、国連UNHCR協会、国境なき医師団、ユニセフ、バギオ基金、和歌山ダルク等々に寄付を行うことによって、自分自身をそれなりに少しは納得させてきたように感じます。

ロータリーは、“善いことをしている”活動を多くの人々に知っていただき、その活動に賛同していただける仲間を増やし、世界中で善行しよう、というものです。

私は今の職業(税理士)を開業してちょうど40年になりますが、最初、顧客は1社でした。営業や広告は一切せず(出来なかった)、私という人間を理解してもらい、顧客に対する仕事やサービスに全力を尽くし、現在、顧客は数百社になりました。銀行や知人の紹介は1~2%で、ほとんどはお客様からのご紹介によるもので、私を信用、信頼して下さった方々の人脈によるものと感謝しています。

また市議会議員の後援会長を20数年、務めています。最初のきっかけは、私たちが納税する市民税がどのように執行され、使用されているのか監視しようと思い、知名度ゼロの脱サラした人を支えることによって、結果的に2000名以上の知人ができ、年1回ですが、皆で海岸掃除を行っています。

以上、私の周辺知己の拡大経験から、ロータリーの会員増強を考えたいと思います。

日本におけるロータリアン数は、ピークが13万人台だったのが現在8万4千人台と約60%へと40%弱減少しています。2640地区は私が入会した1998年頃は3000人以上で、現在は1600人余と大きく減少しています。

なぜこの地区が大きく減少したのか、私も目のあたりにしてきましたが、ロータリーに幻滅した人、またロータリーに情熱を持っておられた方の退会があったのも事実です。会員増強は簡単ではないでしょう。ロータリーは多様性を求めています。若い人、女性会員を増やそうとよく言われますが、70歳、80歳になっても元気な人が多々おられます。新会員の年齢幅も広くとる必要があるのではと思います。退会者の復帰も進めるべきだと思いますので、考えてみて下さい。

以前、学校法人の経理学校で学び、その後、講師を経て校長、そして理事長(後継者がなかったため)を20年余り勤め、そちらで専門職(資格者)の養成にも尽力しましたが、自分なりの目標は達成できたとは思っていません。最終的には、和歌山県内の子どもの人口減少に歯止めがかからないため、広く世界中から生徒を募集しようと外国人のための日本語学校を計画し、2年ほど中国を中心に生徒の募集に行きましたが、うまくいきませんでした。この経験を活かし、将来を担う若い世代の育成と、心に残る国際交流を考え、ロータリー財団の補助金も活用しながら、プロジェクトを推進してください。

ロータリーの大役を受けるにあたって、私のこれまでの様々な行動や実践を踏まえた上で、冒頭の言葉を書かせていただきました。これからはロータリーの奉仕活動を通して、ロータリーの輪を広げ、理解してもらえる会員を増やせるよう行動し、実践したいと考えています。

今まで仕事の関係上、私の中心は和歌山県を中心とした近畿圏内でしたが、私の顧客にも外国人社長の会社もありますので、昔にかかわった青少年教育の支援を今一度思い出し、青少年、日本人、外国人、幅広い奨学支援・留学支援等と、さらにこれからは視野を広げて尽力したいと思います。

【クラブ活動報告】

国際交流センターへの書籍寄贈

和歌山東ロータリークラブ

和歌山東ロータリークラブ(会長 瀧川嘉彦)は、令和4年1月27日、和歌山市手平所在の和歌山ビッグ愛8階の和歌山県国際交流センター(運営受託者:公益財団法人和歌山県国際交流協会 理事長 榎畑直尚氏)において、同協会に対し、同センターで閲覧貸出利用される書籍121冊(外国語、日本語を含む。)を寄贈させていただきました。



これまでの当クラブの国際奉仕活動としては、2000年(平成12年)から2012年(平成24年)まで、スナーダイクマエ孤児院(カンボジア国)に対し、12年に亘り、支援をさせていただきました。

また直近では、2021年(令和3年)2月に、ノンケーム市の小学校(タイ国:バンコク市)に対し、R.I.3350地区ノンケームロータリークラブを中心として、R.I.2640地区からは当クラブと他4クラブが協力して、浄水器設置プロジェクトに参加させていただきましたが、コロナ禍より、渡航を断念し上記プロジェクトの贈呈式には参加できず、残念でした。

かかる経験を踏まえ、当クラブでは、海外に渡航しなくても、国内、地区内において、国際奉仕ができないかと模索いたしました。

そうしたところ、外国人(技能実習生を含む。)が日本語や日本文化を理解するために利用し、また、日本人が外国語や外国文化を理解するために利用する、国際交流センターにおいて、外国との交流において利用できる書籍が必要との意見をいただき、書籍の寄贈をさせていただくことにしました。

書籍の選定においては、公益財団法人和歌山県国際交流協会の職員の方々にご尽力いただき、必要な方々のニーズを満たす適切な書籍121冊を購入し、冒頭で述べた、令和4年1月27日に寄贈をさせていただきました、本棚に並んでいることを確認させていただきました。

すでに国際交流センターには多くの書籍がありました。さらなる増冊は、利用者にとって、選択肢が広がり、より利用しやすくなり、結果として、来所していただける機会も増えるので、国際交流に役立ち、有用だったと考えております。

当クラブにおける、本年度の国際奉仕としては、コロナ禍において、できる形での国際交流センターへの書籍寄贈をさせていただきましたが、思いほか好評でしたので、また次年度以降も、選択肢の一つとして検討していければと考えております。



【クラブ活動報告】

海南クリーンアップ作戦（ロータリー奉仕デー）

海南東ロータリークラブ

海南東ロータリークラブ（会長 魚谷 幸司）は、2月20日（日）、海南市内の国道沿いので、海南クリーンアップ作戦（清掃活動）を行いました。会員及びファミリーの総勢約20名が参加。コロナ禍の中ですが、野外の活動であるため、感染予防に配慮し、実施しました。



当日は、朝10時集合。海南商工会議所を基点に国道沿いを主に藤白神社往復のコースを清掃。ロータリーデーの活動として「みんなで、街をきれいにしましょう」と道行く通行車両、歩行者など、沿道の多くの市民に無言でアピールしました。

晴天にめぐまれ、順調に多くのゴミを回収することができました。日頃は比較的きれいな感じですが、よく見ると隠れたゴミがあり、空き缶やペットボトル、タバコの吸殻など、集めてたゴミは、ゴミ袋（海南市提供）約10袋になりました。

皆と一緒に協力し、心地よい汗をかくことで、より深い交流、親睦が図れました。また、ファミリーも参加し、ロータリーの活動を多くの皆さんに知ってもらうことが出来ました。



ゴミ拾い 皆にアピール ロータリー

新会員の紹介

ロータリーを体験し可能性を発見しよう

	クラブ名	高師浜ロータリークラブ
	氏名	きした のぶひこ 岸田 睦彦
	職業分類	歯科医
	生年月日	1965年4月21日
	入会年月日	2022年1月13日

	クラブ名	高師浜ロータリークラブ
	氏名	かめい ゆういちろう 亀井 雄一郎
	職業分類	電機工事
	生年月日	1986年7月15日
	入会年月日	2022年1月13日

	クラブ名	田辺はまゆうロータリークラブ
	氏名	うえの あきこ 植野 彰子
	職業分類	保険営業
	生年月日	1981年10月17日
	入会年月日	2022年1月11日

	クラブ名	田辺はまゆうロータリークラブ
	氏名	かんざ けいこ 寛座 桂子
	職業分類	着物講師
	生年月日	1947年2月12日
	入会年月日	2022年1月11日

	クラブ名	大阪金剛ロータリークラブ
	氏名	くりす としお 栗栖 俊雄
	職業分類	電気工事業
	生年月日	1943年12月16日
	入会年月日	2022年2月3日

ロータリーへようこそ!

多様な会員が
集まるクラブに



奉仕と友情の輪を広げよう

ロータリーへの入会

変化を生み出すロータリーの力の源は、世界35,000以上のクラブで活動する120万人の会員。友情で結ばれた会員は、地元での草の根の活動から、大規模な世界的活動まで、幅広く取り組んでいます。

言 ト 幸 反

故人の功績を称え 謹んでお悔やみ申し上げます

御坊ロータリークラブ



ふるくぼ やすお
古久保 泰男 様
2022年1月2日 逝去
在籍期間 36年6ヶ月
職業分類 建築設計
表 彰
PHF+4 第4回米山功労者

泉佐野ロータリークラブ



さいしん まさや
才新 正也 様
2021年1月28日 逝去
在籍期間 49年(内14年名誉会員)
職業分類 薬剤師
表 彰 第1回マルチプル ベネファクター
第6回功労者

和歌山中ロータリークラブ



なかい としはる
中井 俊治 様
2022年1月15日 逝去
在籍期間 33年2ヶ月
職業分類 酒類販売
表 彰 米珠功労者 2回
マルチプルボールハリスフェロ 2回



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

ハイライト よねやま

Vol.263

2022年2月14日
発行

1. クラブ国際奉仕活動に学友会が協力

出雲中央RCとタイ米山学友会がタッグを組み、タイの病院へ医療器具を寄贈しました。

このプロジェクトは第2690地区（岡山県・島根県・鳥取県）と出雲中央RCによる地区世界社会奉仕プロジェクトの一つであり、同クラブがかつて世話をした元米山奨学生、ブサコーン・ホンヨックさんを通じて、タイ米山学友会へ協力を仰いだもの。同学友会はこの話を受け、寄贈先となる医療機関の選定や、現場で今必要とされている機器の把握、販売業者の情報などを調査し、出雲中央RCへ逐次報告。学友会から



の12,378パーツを足して、昨年12月にネーザルハイフロー（高流量で高濃度酸素を投与できる呼吸療法機器）1台を寄贈、ま

た、今年1月にはストレッチャーを1台ずつ2病院へ寄贈しました。現在、オミクロン株が急拡大しているため贈呈式には立ち会えなかったものの、「今回のご支援で、医療設備が充分ではない地域の病院を助けることができました。学友会として世話クラブのお手伝いできたことが何よりも嬉しく、懸け橋の役割を果たせた」と、ワシン・テイシャチャイニラン会長（東京清瀬RC）とブサコーンさんが語ってくれました。



寄贈したネーザルハイフロー（銘板には出雲中央RCとタイ米山学友会の名が刻まれている）

2. よねやま親善大使の活躍

2月5日、第2560地区米山奨学委員会が主催する「第2回米山委員長セミナー」が新潟市内で開かれ、よねやま親善大使のカレン・ジュリア・ウォーターズさん（1992-94/京都南RC）が同地区54クラブの米山奨学委員長に向けてスピーチをしました。今回はオミクロン株の感染拡大を受けてハイブリッド形式となり、会場に集まったガバナー、ガバナー・エレクト、ガバナー・ノミニーを含む約25人は全員抗原検査を受けてから入場するなど、厳戒態勢での開催となりました。久しぶりの活動と



なったカレンさんは米山奨学生時代の感謝から現在の仕事に込める思いなどを語り、聞きながら涙を浮かべる参加者もいました。

現在の第4代よねやま親善大使の3人は、就任時からコロナ禍に見舞われ、ほとんど活動ができていません。このため、任期を1年間延長し、2023年6月末までとすることが決定されました。感染が落ち着きましたら、ぜひよねやま親善大使をお招きください。



Q 招への費用はどのくらい？

地区・分区・クラブ周年行事の場合、親善大使の旅費（交通費・宿泊費・基本の食費）は奨学会が負担します。地区大会登録料、晩餐会参加費などは、招へい側でのご負担をお願いします。

Q クラブ卓話へ呼べますか？

できるだけ地区・分区行事への招へいをお願いしていますが、親善大使（大阪・東京在住）の旅費をクラブでご負担いただける場合、招へいが可能です。

Q どこに申し込みがいい？

米山奨学会事務局広報担当までメールまたはお電話でご連絡ください。折り返し、招へい申請書をお送りします。その後、事務局が派遣できる親善大使を調整します。

3. 寄付金速報 — まん延防止の影響で減少か —

1 月末までの寄付金は前年同期と比べて 1.9%減（普通寄付金:3.3%減、特別寄付金:1.1%減）、約 2,000 万円の減少となりました。ご寄付をいただきました皆さまに厚く御礼申し上げます。例年 1 月は、普通寄付金（クラブで決定した金額×会員数分をお送りいた

く定期寄付）の下期分の納入が主となります。しかしながらオミクロン株の影響で休会中のクラブが増え、1 月の納入金額が減少したように思われます。まだ先が見えない状況ですが、引き続きご協力下さいますようよろしくお願いいたします。

4. 鶴ヶ島 RC が初の奨学生スピーチコンテスト

1 月 30 日、第 2570 地区（埼玉県）鶴ヶ島 RC が「第 1 回米山記念奨学生スピーチコンテスト」を初開催し、同地区奨学生 6 人と学友 2 人、計 8 人が出場。「日本について思うこと」をテーマに、一人 4 分の持ち時間で、それぞれ日本への思いを発表しました。会長賞には、尚美学園大学芸術情報学部で学ぶ鄭晴さん（マレーシア/2020-22/行田さくら RC）が選ばれ、齊藤大祐会長から表彰状と記念品が手渡されました。



このイベントは鶴ヶ島 RC が「地区内の米山奨学生から異文化を学びたい」と企画したもの。出場者を募り、審査員の一人として参加した同地区米山記念奨学部委員長の渡邊藤男氏は、「普段、皆さんがクラブで聞く卓話とは異なり、より深く彼らの思いを知ることができた。思っていた以上に素晴らしく、感動をもらった。地区内の多くの会員にもぜひ聞いていただきたい」と、振り返って述べられました。

5. 高校生への国際理解授業

東京米山友愛 RC と東京米山ロータリー E クラブ 2750 が主催する、学友・奨学生と高校生との交流イベントが 1 月 22 日、都立小平高等学校で 2 年ぶりに開催されました。

この国際交流会は 2013 年度に東京米山友愛 RC が始めて以来、今年で 9 年目を迎えます。昨年はコロナで中止となりましたが、今年は感染対策を講じて 1 人が 1 クラスのみを担当、学友・奨学生が教壇に立つ授業スタイルへ変更し行われました。対象となったのは同校 2 学年の 7 クラス約 280 人。参加した米山学友・奨学生は 8 人。高校生たちにとってはコロナ感染拡大以降、初めて外部講師とふれ合う場とな



学友と一緒に K-POP グループのダンスを踊る高校生

り、休み時間も惜しんで講師へ質問する姿が見られました。「言葉や文化だけでなく、生き方を教わった。国が違えば考え方も異なると思っていたが、実際に話を聞くと、近いものを感じた」と、ある高校生は感想を述べました。

企画した東京米山友愛 RC 会員の朴貞子さん（2006-08/岸和田 RC）は、「日本にいる奨学生・学友に多くのチャンスをあげたいし、ロータリーならではの体験をさせてあげたい。そ

してこの経験を各自母国に持ち帰って、広めてほしい」と、話しました。また、同クラブは 11 月 20 日にも、都立成瀬高等学校でオンライン交流授業を実施しています。

「Think-global Act-local」をテーマに、「ロータリー奉仕デー」の企画 / 2021年度

「ロータリーコーディネーター」の仕事は、会員基盤部門だけに関わらず、「ロータリー活動そのものの活性化をコーディネートする仕事」と理解して、地区研修リーダーとして、地区・地区内クラブの運営や事業計画立案に関わる時は、「クラブ活性化(即ち会員増強)」は、「ロータリー財団補助金を積極的に使用する奉仕PJ」を実施して、そのPJを「ロータリー活動の広報とイメージアップ向上のために、PJ実施前後の対外広報活動の準備」を三位一体の基本として計画してきました。然し乍ら、日本の会員として共通する問題でもありますが、以前の「ロータリー財団6つの重点分野」では、自分たちの身近な問題として捉え難かったことは否めません。そんな折に、「環境」が7つ目の重点目標に追加され、然もシェカール・メータRI会長は「ロータリー奉仕デー」の実施を呼びかけられたので、2700地区としては、2020年度から取り組んでいる「環境保全活動」と「ロータリー奉仕デー」をジョイントする事を、今年度の地区の奉仕デー方針「Think-global Act-local」とし、地区内61全クラブ参加の「ロータリー奉仕デー」を開催しました。他地区の参考にでもして頂ければ幸甚と思いい紹介いたしました。

2700地区が2020年度より参加している「宗像国際環境会議」に、「2700地区ロータリークラブ」として参加し、当地区奉仕デーの事業を「宗像国際環境会議のField-work」とし、地区会員を対象とした「会員対象の環境保全研修会は福岡市内研修会場」と「地区内61の全クラブ」と「宗像国際環境会議会場」をオンラインの同時進行のハイブリットで実施し、しかも一部の講演等は「Facebook」で同時に世界発信し、「宗像国際環境会議」のページにて参加出来るようにしました。

1月のRI会長方針を受けてからの、地区内全クラブを対象とした急な対応となったので、2月からの準備を時系列に紹介します。

1. 地区研修委員会と社会奉仕委員会・ロータリー財団委員会にて詳細検討
2. 地区研修委員7名全員を地区内7グループの担当とし、7名のガバナー補佐を支援することとし、「ロータリー奉仕デー対策 ガバナー補佐会議」を数回開催。
3. PETSの全体会議にて「地区奉仕デーの概要説明と財団補助金等の適応説明」→「グループ別会議」→全体会議にて「各グループの行動予定」と「事前、事後の対外広報計画の説明」。
4. 地区研修協議会にて、約800名の会員に「2700地区ロータリー奉仕デーの意義」を再度説明。
5. 地区内7グループの活動は未だ進行中のPJもあるので最終的な総括は出来ていませんが、6グループが終わった段階で、地区会員総数(約3200名)の倍以上の参加人数です。
6. このPJは、12月5日に東京で開催された「ロータリー財団地域セミナー」にて、「第3地域の事業例」として報告する栄誉も賜りました。

この事業は地区内会員や一般の方の多くの賛同と参加を得たので、2022年度は更にバージョンアップして、下記のような事業を計画し、既に準備が進んでいます。

「クラブ活性化」のために「会員基盤向上部門」「公共イメージ向上部門」と「ロータリー財団部門」の3部門合同の「クラブ活性化奉仕PJ」の企画 2022年度

1. 「クラブ活性化セミナーを今年6月に開催する」

担当委員会は 会員基盤向上部門・広報・公共イメージ向上部門・ロータリー財団部門の3部門とする。

2. 「オープン例会Week」の開催

会員基盤向上部門は、7月から8月にかけて、地区全61クラブを対象とした 1or2週間の「オープン例会Week」の開催を働きかける。オープン例会の出席対象者は、1.会員候補者 2.会員事業所の社員 3.会員家族 4.マスコミ関係 5.等々で、出席者の食事代金は、地区負担する。

3. 「2700地区の取り組む環境保全」の映像を作成し、オープン例会時の全てのクラブの卓話時間に使用する。映像は、「国際ロータリーの紹介・国際ロータリーの環境保全活動・2700地区の環境保全活動」の内容の30分映像を、地区研修委員会が作成する。

4. 「地区環境保全奉仕デー」は、2021年度を参考にして、地区社会奉仕委員会が主管で「宗像国際環境会議」とコラボして9月～11月の間に実施する。

5. 「オープン例会」と「地区環境保全デー」は、公共イメージ向上部門が事前・事後の対外広報を周到に準備する。

6. 「地区環境保全PJ」に関わる費用は、「ロータリー地区補助金」と「地区事業補助金」の対象となることを ロータリー財団委員会は周知を図る。

第3地域 ロータリーコーディネーター補佐 安増 惇夫(宗像RC)

第3地域戦略計画セミナーについて

ロータリーを発展させるためには、ロータリーの「ビジョン声明」にあるように持続可能なよい変化を生むために、そしてロータリーが社会の変化に適応し、社会から必要とされる団体として認知されなければなりません。

また、ロータリーの戦略計画に3つの優先項目が決められ、「公共イメージと認知度の向上」、「クラブのサポートと強化」、「人道的奉仕の重点化と増加」であることはご存知の通りです。

この3つの項目を連携することによって会員基盤向上につながるようになります。現在は4つの優先項目に変わり「より大きなインパクトをもたらす」、「参加者の基盤を広げる」、「参加者の積極的なかわりを促す」、「適応力を高める」ための行動計画を推進することになっています。

第3地域では、ロータリーコーディネーター (RC)、ロータリー財団地域コーディネーター (RRFC)、ロータリー公共イメージコーディネーター (RPIC) の地域リーダーが共同で新年度が始まって早い時期(7月第一週が第二週の土曜日)に毎年交代で担当をつとめ「戦略計画推進セミナー」を開催しています。

このセミナーのプログラムは、各地区ガバナーによる地区方針の発表、前年度に実施された公共イメージ向上につながる奉仕活動をメディアで報道された様子を含め有効な参考事例として紹介することを中心に構成し、かつ各地区ガバナーの交流の場として運営しています。

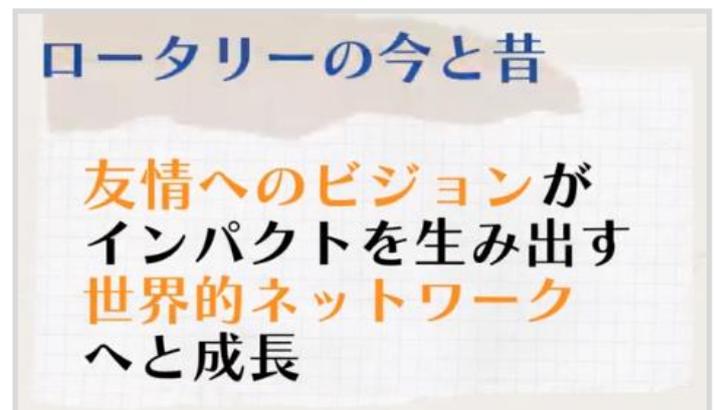
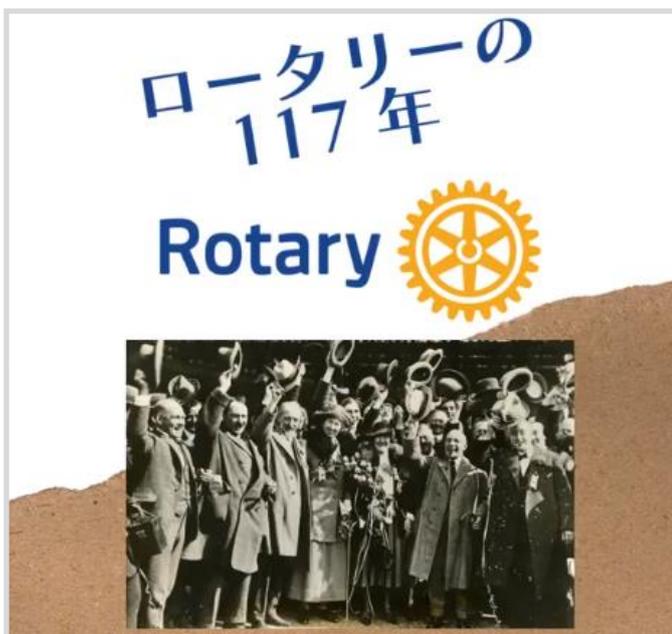
しかし、RC、RRFC、RPICの活動の認知には至っておらず、地区の研修会などで発表する機会が少ないのが現状です。

RC、RRFC、RPICは3人の地域コーディネーターとそれぞれ3名の地域コーディネーター補佐で編成されていますので、是非 お声がけください。

クラブの会員増強と活性化につながることのお手伝いができるように準備をしています。

オミクロン型コロナ感染拡大によってまだまだ不透明な環境ではありますが、国・行政の指針を守り、しっかりと予防対策をすることによって「一日も早く、大切な人達と安心して会える日常に戻りますこと」を願っています。

第3地域 ロータリーコーディネーター補佐 片山 勉 (大阪東RC)



第2640地区 会員数報告(2022年1月)

クラブ名	会員数				入会			退会			クラブ名	会員数				入会			退会		
	21.7.1	内女性	22.1月末	内女性	1月	内女性	累計	1月	内女性	累計		21.7.1	内女性	22.1月末	内女性	1月	内女性	累計	1月	内女性	累計
串本	9	1	7	1	0	0	0	0	0	2	松原	15	0	15	0	0	0	0	0	0	0
那智勝浦	12	0	11	0	0	0	0	0	0	1	松原中	26	4	24	3	0	0	0	0	0	2
新宮	46	2	46	2	0	0	1	0	0	1	美原	5	1	5	1	0	0	0	0	0	0
白浜	10	1	10	1	0	0	0	0	0	0	大阪狭山	7	1	7	1	0	0	0	0	0	0
田辺	80	3	82	3	0	0	2	0	0	0	太子	17	1	18	1	0	0	2	0	0	1
田辺東	39	3	37	3	0	0	0	0	0	2	富田林	34	0	35	0	0	0	1	0	0	0
田辺はまゆう	27	4	28	4	0	0	2	0	0	1	ワールド大阪 ロータリーEクラブ	9	1	9	1	0	0	0	0	0	0
有田	26	1	27	1	0	0	1	0	0	0	泉佐野	20	0	20	0	0	0	0	0	0	0
有田南	27	1	25	1	0	0	0	1	0	2	貝塚	16	3	16	3	0	0	0	0	0	0
有田2000	17	0	15	0	0	0	0	0	0	2	貝塚コスモス	12	3	11	3	0	0	0	0	0	1
御坊	42	3	41	3	0	0	0	1	0	1	関西国際空港	18	1	18	1	0	0	0	0	0	0
御坊東	15	0	15	0	0	0	0	0	0	0	岸和田	33	1	31	1	0	0	0	0	0	2
御坊南	15	6	15	6	0	0	0	0	0	0	岸和田東	40	6	39	6	0	0	0	0	0	1
海南	9	0	9	0	0	0	0	0	0	0	岸和田南	9	0	9	0	0	0	0	0	0	0
海南東	40	5	41	5	0	0	1	0	0	0	KUMATORI 向日葵	9	2	8	2	0	0	0	0	0	1
海南西	18	2	18	2	0	0	0	0	0	0	りんくう泉佐野	15	3	16	3	0	0	1	0	0	0
Rotary E-Club Sunrise of Japan	7	2	7	2	0	0	0	0	0	0	羽衣	17	1	15	1	0	0	0	0	0	2
和歌山	72	1	75	2	0	0	4	0	0	1	和泉	21	0	25	0	1	0	4	0	0	0
和歌山アゼリア	27	9	28	9	1	0	2	0	0	1	泉大津	43	3	43	3	0	0	0	0	0	0
和歌山東	45	0	45	0	0	0	0	0	0	0	和泉南	56	2	55	2	0	0	1	0	0	1
和歌山城南	39	1	39	1	0	0	1	0	0	1	大阪金剛	12	1	12	1	0	0	0	0	0	0
和歌山中	22	0	21	0	0	0	0	1	0	1	高石	25	2	24	1	0	0	0	0	0	1
和歌山北	30	1	31	1	0	0	1	0	0	0	高師浜	9	1	11	1	2	0	2	0	0	0
和歌山南	79	5	79	5	0	0	1	0	0	1	堺	40	4	44	5	0	0	6	0	0	2
和歌山東南	35	6	36	6	1	0	1	0	0	0	堺東	19	3	19	3	0	0	0	0	0	0
和歌山西	10	1	9	1	0	0	0	0	0	1	堺泉ヶ丘	20	2	21	3	0	0	1	0	0	0
橋本	46	0	45	0	0	0	1	0	0	1	堺中	21	3	20	3	0	0	0	0	0	1
岩出	23	1	24	1	0	0	1	0	0	0	堺北	31	1	30	1	0	0	0	0	0	1
河内長野高野街道	17	3	17	3	0	0	0	0	0	0	堺おおいずみ	27	3	27	3	0	0	0	0	0	0
粉河	17	1	17	1	0	0	0	0	0	0	堺フェニックス	9	4	9	4	0	0	0	0	0	0
高野山	19	0	16	0	0	0	0	0	0	3	堺清陵	23	4	22	4	0	0	0	0	0	1
羽曳野	9	0	10	0	1	0	1	0	0	0	堺南	9	0	9	0	0	0	0	0	0	0
河内長野	18	4	19	4	0	0	1	0	0	0	計	1,634	129	1,634	130	8	0	41	3	0	39
河内長野東	20	1	22	1	2	0	2	0	0	0											



クラブ数	2021年7月1日 会員数				2022年1月末 会員数				1月入会		1月退会		増減		
	男性	女性	合計	内女性	男性	女性	合計	内女性	男性	女性	合計	内女性	男性	女性	合計
66	1,505	129	1,634	1,504	130	1,634	8	0	3	0	5	0	5	0	5

※和泉南RC 7/1付け 1名入会

※橋本RC 7/1付け 1名入会

2021-2022 年度 国際ロータリー第2640地区

MY ROTARY 登録状況 [2022年2月25日現在]

2640地区	会員数	登録人数	登録率
2022年2月25日	1,641	676	41.19%

クラブ名	会員数	登録人数	登録率
串本	7	1	14.3%
那智勝浦	11	3	27.3%
新宮	46	17	37.0%
白浜	10	6	60.0%
田辺	82	49	59.8%
田辺東	37	10	27.0%
田辺はまゆう	30	10	33.3%
分区計	223	96	36.9%

クラブ名	会員数	登録人数	登録率
Rotary E-club Sunrise of Japan	8	7	87.5%
和歌山	75	54	72.0%
和歌山アゼリア	28	7	25.0%
和歌山東	45	30	66.7%
和歌山城南	39	11	28.2%
和歌山中	21	6	28.6%
和歌山北	31	7	22.6%
和歌山南	79	15	19.0%
和歌山東南	36	11	30.6%
和歌山西	9	1	11.1%
分区計	371	149	39.1%

クラブ名	会員数	登録人数	登録率
羽曳野	10	2	20.0%
河内長野	19	19	100.0%
河内長野東	22	2	9.1%
松原	15	7	46.7%
松原中	24	6	25.0%
美原	5	0	0.0%
大阪狭山	7	6	85.7%
太子	18	10	55.6%
富田林	35	11	31.4%
分区計	155	63	41.5%

クラブ名	会員数	登録人数	登録率
羽衣	15	11	73.3%
和泉	25	5	20.0%
泉大津	43	12	27.9%
和泉南	55	8	14.5%
大阪金剛	13	10	76.9%
高石	24	10	41.7%
高師浜	11	8	72.7%
分区計	186	64	46.7%

100% 達成クラブ

貝塚ロータリークラブ

河内長野ロータリークラブ

2021-2022年度

登録率目標

65%

クラブ名	会員数	登録人数	登録率
有田	27	15	55.6%
有田南	25	3	12.0%
有田2000	15	9	60.0%
御坊	41	15	36.6%
御坊東	15	5	33.3%
御坊南	15	4	26.7%
海南	9	6	66.7%
海南東	41	34	82.9%
海南西	18	0	0%
分区計	206	91	41.5%

クラブ名	会員数	登録人数	登録率
橋本	45	4	8.9%
岩出	24	7	29.2%
河内長野高野街道	17	10	58.8%
粉河	17	11	64.7%
高野山	16	9	56.3%
分区計	119	41	43.6%

クラブ名	会員数	登録人数	登録率
ワールド大阪 ロータリーEクラブ	11	7	63.6%
泉佐野	20	9	45.0%
貝塚	16	16	100%
貝塚コスモス	11	7	63.6%
関西国際空港	18	4	22.2%
岸和田	32	8	25.0%
岸和田東	39	26	66.7%
岸和田南	9	1	11.1%
KUMATORI向日葵	8	3	37.5%
りんくう泉佐野	16	7	43.8%
分区計	180	88	47.9%

クラブ名	会員数	登録人数	登録率
堺	44	13	29.5%
堺東	19	12	63.2%
堺泉ヶ丘	21	6	28.6%
堺中	20	4	20.0%
堺北	30	11	36.7%
堺おおいずみ	27	9	33.3%
堺フェニックス	9	7	77.8%
堺清陵	22	21	95.5%
堺南	9	1	11.1%
分区計	201	84	44.0%

目標達成 13クラブ

3月の行事予定表

日付	行 事	場 所
5(土)	第3回ガバナー補佐・幹事予定者合同会議	けやきONE401 (ZOOM)
	第9回ガバナー補佐・幹事合同会議	けやきONE401 (ZOOM)
6(日)	RLI パートⅠ 9:00~16:35	ZOOM
9(水)	地区大会 ゴルフ大会	大阪ゴルフクラブ
12(土)	財団補助金管理セミナー 13:00~16:00	けやきONE401 (ZOOM)
13(日)	米山奨学生修了式	けやきONE401 (ZOOM)
19(土)	2022-2023年度PETS	未定
	第5回ローターアクト委員会 17:00~	ガバナー事務所 (ZOOM可)
15(日)	米山奨学生修了式	けやきONE401 (ZOOM)
26(土)	アクト全国ローターアクト研究会	オンライン
27(日)	地区大会	ホテル・アゴラリージェンシー大阪堺フェニチエ堺
	アクト全国ローターアクト研究会	オンライン

ガバナー月信の表紙写真 ご提供のお願い!

ガバナー月信の表紙写真をご提供ください。

第2640地域内でご自身が撮影された写真(著作物の利用を許可できる作品)をご提供ください。

風景など、地域の様子をご紹介していただける写真(データ)をお願いします。

なお、ご提供が多数ある場合は、編集会議で協議し、決めさせていただきますので、予め、ご了解ください。 何卒、ご協力をお願い申し上げます。

ROTARY ROTARY

国際ロータリー 第2640地区 ガバナー事務所

〒640-8331
和歌山市美園町3-34 けやきONE 301号室
TEL (073) 426-2640
FAX (073) 426-2660
e-mail : toyooka@rid2640g.com

JR和歌山駅西口から徒歩7分
阪和道、和歌山インターから約10分

